

提案説明

【 市長提案説明 】

本日は、市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、何かとご多用の中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

開会にあたりまして、去る7月3日、静岡県熱海市で発生いたしました土石流災害によって、甚大な被害が発生しましたことに、心からお見舞いを申し上げます。

被災された方々のご苦勞とご心痛をお察し申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

そして、被災地の一日も早い復旧、復興を願うものであります。

近年の異常気象により、年々風水害等が激甚化する中で、桑名市におきましても、防災気象情報に常に注意を払い、気を引き締めて災害対策にあたることが重要であると考えており、その前提となる防災力の強化や防災意識の向上に引き続き取り組んでまいり所存でございます。

さて、桑名市のコロナウイルス感染状況について、でございますが、6月以降改善傾向が続いております。これは、市民の皆様、事業者の皆様が、それぞれしっかりと対策をとっていただいた結果であり、皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

また、ご尽力いただいております医療関係者の皆様に対しましても、厚くお礼申し上げます。

市民の皆様には、引き続き、気を緩めることなく、感染対策の徹底をお願い申し上げます。

こうした中、現在のところ、唯一とっていい、切り札ともいえる、コロナワクチンでございますが、市といたしまして、可能な限り早く接種できる体制を構築しておりますものの、そのワクチンの供給について、国や県からかなり厳しい通知が届いております。

全国的な傾向ではありますが、三重県及び桑名市も今後の供給量は非常に不透明な状況となっております。

これからいよいよ始まる一般の接種に向けて、桑名医師会とともに一丸となって、市民の皆様がより早く、適切に接種ができる準備を重ねてまいりましたが、その計画の見直しを余儀なくされているのが実情でございます。

具体的には、7月14日から始まる一般接種の予約において、8月末までは当初の予定に近い人数分の受付が可能ですが、現在のワクチンの供給状況では、9月以降の接種について見込みが立たないという状況にあります。

各医療機関に多大なるご協力をお願いしておきながら、このような状況の中で一般接種を開始せざるを得ないというのは、非常に残念の一言であります。

今後、ワクチン供給の目途が立った際には、柔軟に対応できるよう、あらゆる想定をしながら、対応を検討してまいりたいと考えております。

市では、昨年来、様々な緊急対策を、刻々と変化する状況の中にあっても、“感染予防・拡大防止対策”

と“経済対策・生活支援策”のバランスを図りながら、種々、施策を講じてまいりました。

今必要とされる対策を、必要とされるタイミングで、臨機応変、機動的に講じていくことが、私の使命であると考えております。

その一方で、コロナ関連以外の事業におきましても、着実に市政を推し進める必要がございます。

そこで、本臨時会には、今必要となる経済対策と医療機関に対する支援、(仮称)福祉ヴィレージ施設整備費補助金について、関連予算案を計上いたしました。

新型コロナウイルスの影響は、市内のあらゆる業種に及んでおり、中小・零細事業者にとりましては、事業の継続すら危ぶまれている状況でございます。

先の定例会では、飲食業を支援する予算案を追加上程し、お認めいただきましたが、今般は、飲食業を含んだ全般的な小売業者に対する切れ目のない経済対策を行うものでございます。

私といたしましては、地域経済の回復、活性化に注力するとともに、市民の皆様の命をお守りすることに万全を期しながら、今考え得る対策を、今実行に移すことで、皆様の生活と、この地域経済を守り抜いていく所存でございます。

また、ワクチン接種に関する医療機関への支援も行うことで、今後も桑名医師会と連携して、ワクチン接種に取り組んでまいりたいと考えております。

これらのこととあわせまして、コロナ関連以外の重要事業におきましても、所期の目的達成のため、あらゆる施策を講じてまいります。

とりわけ、(仮称)福祉ヴィレージ整備事業におきましては、私が公約の一つとして「新しい福祉のかたち」の実現を掲げ、事業化に取り組んできたものでございます。

この(仮称)福祉ヴィレージ整備事業は、近年のSDGsの理念にも合致する、今後の社会の在り方として一つの方向性を示す施設であるとともに、国が推進する「地域共生社会」の具現化に向けて、必ず実現すべきものであると考えております。

桑名市の福祉の充実を図り、世代や分野を超えてつながる地域共生社会の実現に向けては、本事業の着実な推進が必要であり、全力で取り組んでまいりる所存でございますので、議員の皆様、引き続きのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程となりました議案第65号「令和3年度桑名市一般会計補正予算(第5号)」につきまして、ご説明申し上げます。

今回の一般会計補正予算(第5号)は、新型コロナウイルス感染症対策として、「ワクチンの早期接種」や「“切れ目のない”経済対策」を行うほか、「多世代共生型施設『(仮称)福祉ヴィレージ』」の着実な進捗を図るための予算を計上いたしました。

それでは、歳出からご説明申し上げます。

まず、民生費では、“新しい福祉のかたち”「多世代共生型施設『(仮称)福祉ヴィレージ』」の整備に対して、国・県の補助金の一部減額されることが明らかになってまいりました。

この国・県補助金の減額分の一部を補助するため、新たに「地域共生社会の実現に向けた施設整備費補

助金」を予算計上し、桑名市社会福祉協議会に対して、これを交付するものでございます。

この事業は、令和4年度の運営開始に向け、現在、整備を進めております、最重要の事業でございます。

桑名市社会福祉協議会だけでは、対応できない部分を市が補助することで、桑名市社会福祉協議会が、引き続き、令和4年度の運営開始を目指し、遅滞なく整備を進めていくことができるようにするためのものでございます。

このほか、同じく、桑名市社会福祉協議会に交付いたします、「保育所等整備交付金」及び「母子生活支援施設整備費補助金」については、国の単価改定による増額分を計上いたしております。

次に、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種について、先の6月定例会において、7月末までの時間外及び休日の接種費用の上乗せ分を補正予算にて計上し、お認めいただいたところでございますが、新たに、国から通知があり、時間外及び休日の接種費用の上乗せ期間を延長するとの内容が示されてまいりましたことから、これに係る上乗せ分の費用を追加計上いたしました。

次に、商工費では、こちらも先の6月定例会において「飲食店への支援」を補正予算にて計上し、お認めいただいたところでございますが、この事業につきましては、9月30日までの期限となっております。

そのため、これに続く切れ目のない経済対策としまして、「キャッシュレス決済Pay Pay（ペイペイ）によるポイント還元事業」を実施するための費用を計上いたしました。

消費喚起を促し、市内経済の回復を加速させることにより、市内事業者の皆様をしっかりと支援してまいります。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

まず、国庫支出金につきましては、歳出事業に応じて、所要の額を計上いたしました。

次に、繰入金につきましては、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金から、必要な額の繰入れを行いました。

次に、繰越金につきましては、この補正予算の収支の均衡を図るため、令和2年度決算剰余金を踏まえ、所要の額を計上いたしました。

以上、上程の議案につきまして、大要をご説明申し上げます。
よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。

(会議録が正式な発言記録となります。)